

Campusmate-J

Syllabus

操作マニュアル

(2017年11月)

－ 目次 －

第1章	システムの概要.....	3
1. 1	シラバスシステムとは	3
1. 2	利用環境	3
1. 3	留意事項	3
第2章	シラバスの検索.....	4
2. 1	シラバス検索	4

はじめに

本書の目的

本書は、大学向け事務処理パッケージ Campusmate-J シリーズの「シラバス」の操作方法について説明したものです。

著作権

2012年2月 第1.0版

2013年6月 第1.1版

2014年6月 第1.2版

2014年9月 第1.3版

2016年9月 第1.4版

Copyright 2016 FUJITSU LIMITED

商標

- 記載されている商標および登録商標については、一般に各社の商標または登録商標です。

第1章 システムの概要

1.1 シラバスシステムとは

シラバスシステムとは、教員によりシラバス内容を入力し、学生または一般の方にシラバスを公開するシステムです。教員はWEBよりシラバス内容を入力できます。入力されたシラバスは、学生または一般の方が検索し、シラバス内容を参照することができます。学内・学外問わずインターネットに接続されたパソコンから、情報を確認することができます。

[代表的な機能]

- ・シラバス入力
- ・シラバス検索
- ・シラバス代行入力
- ・シラバス進捗状況確認

1.2 利用環境

シラバスシステムでは、以下のPC環境をサポートしています。

[Web ブラウザ]

- ・ Internet Explorer
 - ・ Microsoft Edge
 - ・ Firefox
 - ・ Google Chrome
 - ・ Safari
- ※各ブラウザの設定で、JavaScript を有効にしておく必要があります。

[OS]

- ・ 上記ブラウザが動作する Windows Vista 移行
- ・ 上記ブラウザが動作する Mac OS X 以降

1.3 留意事項

(1) [戻る]ボタンおよび【F5】キーについて

ブラウザの[戻る]ボタンやキーボードの【F5】キーによる画面の表示、更新はできません。画面上のボタン・リンクを使用してください。複数ウィンドウや複数タブを使用すると、操作を継続できない場合があります。

(2) セッションタイムアウトについて

無操作(画面の移動が無い状態)が長時間続くと、タイムアウトとなり認証失敗の画面が表示されます。その際、入力内容は破棄されてしまいますのでご注意ください。

第2章 シラバスの検索

2. 1 シラバス検索

登録済みのシラバスを検索することができます。

Campusmate -J

文字サイズ 大 中 小 → ログアウト

HOME | 教務揭示 | 履修・成績 | 就職支援 | 健康診断 | 学生支援 | 施設予約 | 出席 | シラバス

シラバス検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、各検索条件を入力して検索してください。

2015 年度

シラバスを検索する

シラバス検索条件

講義名 (部分一致)

教員名 (部分一致)

キーワード 全てを含む

講義期間 --未選択--

キャンパス --未選択--

対象学年 --未選択--

[さらに詳細な検索条件を表示する](#)

シラバスを検索する

検索する

- シラバス検索
- カリキュラムから検索
- オフィスアワー検索

お気に入り

- お気に入り

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2016

《シラバス検索》画面が表示されます。

- ①シラバス検索（講義名で検索）
ボタンをクリックすると、シラバス検索（講義名で検索）画面（5 ページ参照）を表示します。
- ②シラバス検索（教員名で検索）
ボタンをクリックすると、シラバス検索（担当教員で検索）画面（6 ページ参照）を表示します。
- ③シラバス検索（キーワード・内容で検索）
ボタンをクリックすると、シラバス検索（キーワード・内容で検索）画面（7 ページ参照）を表示します。

※赤枠の[さらに詳細な検索条件を表示する]リンクをクリックすると詳細検索条件指定画面が開きます。

1. 「講義名」で検索の場合

(例)「国際」と入力する。

検索条件に合致した講義が表示されます。参照したいシラバスの講義名をクリックします。

「前画面へ戻る」をクリックすると《シラバス検索》画面へ戻ります。

V3シラバス検索

[前画面へ戻る](#)

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-10件表示/78件中 1 2 3 4 5 6 7 8 次の10件>> 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間	曜日・時限	担当教員
1	22404100	国際マーケティング論I	前期	火曜日 2時限	*****
2	22404110	国際マーケティング論II	後期	火曜日 2時限	*****
3	23404200	国際物流論I	前期	火曜日 3時限	*****
4	23404210	国際物流論II	後期	火曜日 3時限	*****
5	32134004	国際文化基礎演習I	前期	水曜日 2時限	*****
6	32134008	国際文化基礎演習II	前期	水曜日 2時限	*****
7	32134275	国際文化基礎演習III	後期	水曜日 2時限	*****
8	32134276	国際文化基礎演習IV	後期	水曜日 2時限	*****
9	32134277	国際文化基礎演習V	後期	水曜日 2時限	*****
10	43134190	国際ボランティア論	前期	木曜日 3時限	*****

1-10件表示/78件中 1 2 3 4 5 6 7 8 次の10件>> 10 件表示

※《シラバス参照》画面が表示されます。

シラバス参照

[検索結果一覧へ戻る](#)

科目名	国際文化基礎演習II
開講学部等	文
開講学期	後期
科目分野	必修科目
配当年次	2年
単位数	2
担当教員	
曜日・時限・教室	後期 水曜日 2時限 259
講義keyID	132134275
講義年度	2017

目的・概要	中国の歴史と文化、日本文化と中国文化との共通点、相違点をテーマとし、これらに関する基礎的知識、資料調査能力及び発表能力の習得を目標とする。
到達目標	上記の通り。
スケジュール	前半は、中国文化、日本文化に関する資料の講義及び解説を中心とする。後半は各受講者がそれぞれテーマを選び、講義及び口頭発表を行う。なお、スケジュールの詳細については、受講者担任や受講者の関心を待つ分野等を考慮し、初回授業時に決定、明示する。
準備学習	前回の講義内容を復習しておくこと。
教科書	『必要に応じてプリント配布』
参考図書	『なし』
履修上の注意	演習科目なので、無断欠席は厳禁。
評価方法	平常点(出席、受講態度、レポートを含む)60%、発表40%
オフィスアワー(研究室)	火曜日/水曜日:12:15~13:10、 研究室(御井本館7F)、事前に連絡をください。E-mail:yokita.nyu@id@sunrise-u.ac.jp
備考	
ホームページ	
更新日付	2017/06/21 2021

[検索結果一覧へ戻る](#)

「検索結果一覧へ戻る」をクリックすると上記《講義一覧》画面へ戻ります。

2. 「教員名」で検索の場合

「個人名」を入力してください。なお、個人名は“漢字”か“カナ”で入力してください。
 検索条件に合致した講義が表示されます。参照したいシラバスの講義名をクリックします。
 「前画面へ戻る」をクリックすると《シラバス検索》画面へ戻ります。

V3シラバス検索

前画面へ戻る

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-10件表示/28件中 1 2 3 次の10件>> 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間 曜日・時限	担当教員
1	35130020	言語学II(a)	後期 火曜日 5時限	個人名
2	53133450	中国文化史I	前期 金曜日 3時限	個人名
3	53133460	中国文化史II	後期 金曜日 3時限	個人名
4	54134230	日中交流論I	前期 金曜日 4時限	個人名
5	54134240	日中交流論II	後期 金曜日 4時限	個人名
6	13230080	国際法IA(総論)	前期 月曜日 3時限	個人名
7	13230090	国際法IB(総論)	後期 月曜日 3時限	個人名
8	23233120	中近東地域研究	後期 火曜日 3時限	個人名
9	25270813	専門演習IIA	前期 火曜日 5時限	個人名
10	25270413	専門演習IIB	後期 火曜日 5時限	個人名

1-10件表示/28件中 1 2 3 次の10件>> 10 件表示

※《シラバス参照》画面が表示されます。

シラバス参照

検索結果一覧へ戻る

シラバス	言語学II(a)
開講学部等	文
開講学期	後期
科目分野	選択必修
配当年次	1年
単位数	2
担当教員	
曜日・時限・教室	後期 火曜日 5時限 130
講義No	35130020
講義年度	2017

目的・概要	本講義は、言語学における音韻論、統語論、形態論、意味論の基礎(例、本学の「言語学II(a)」を学んだ人へ)。これらに関する基本的な知識(「学」の分野)を「講義」(「言語学II(a)」)を通じて、言語学(「言語学II(a)」)の知識を「講義」を通じて「学」に導入する。講義の学習を通じて、人間の言語の構造(音韻論、形態論、統語論)の理解を深め、人間の言語の構造(音韻論、形態論、統語論)の理解を深め、人間の言語の構造(音韻論、形態論、統語論)の理解を深める。																																	
到達目標	実験結果や言語データを観察して、立てている仮説を理解し、言語学に関連する上記分野の基礎を理解する。																																	
スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>シラバス、音韻論1</td> <td>9</td> <td>計算機による人間言語の処理2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>音韻論2</td> <td>10</td> <td>中間テスト2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>音韻論3</td> <td>11</td> <td>社会における言語の違い1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>音韻論4</td> <td>12</td> <td>社会における言語の違い2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>中間テスト1</td> <td>13</td> <td>音韻変化1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>大転と音韻</td> <td>14</td> <td>音韻変化2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>人間の脳とその言語処理</td> <td>15</td> <td>音韻変化3</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>計算機による人間言語の処理1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1	シラバス、音韻論1	9	計算機による人間言語の処理2	2	音韻論2	10	中間テスト2	3	音韻論3	11	社会における言語の違い1	4	音韻論4	12	社会における言語の違い2	5	中間テスト1	13	音韻変化1	6	大転と音韻	14	音韻変化2	7	人間の脳とその言語処理	15	音韻変化3	8	計算機による人間言語の処理1			
1	シラバス、音韻論1	9	計算機による人間言語の処理2																															
2	音韻論2	10	中間テスト2																															
3	音韻論3	11	社会における言語の違い1																															
4	音韻論4	12	社会における言語の違い2																															
5	中間テスト1	13	音韻変化1																															
6	大転と音韻	14	音韻変化2																															
7	人間の脳とその言語処理	15	音韻変化3																															
8	計算機による人間言語の処理1																																	
教科書	『ブロンキンの言語学』、ブロンキン・ロッドマン&ヒラムズ著、トムソンラーニング(英研)																																	
参考図書	『』																																	
履修上の注意	期中テストは総合テストで、中間テスト1、2の範囲を含む。																																	
評価方法	筆記試験(80%)とレポート(20%)。授業への参加度(10%)、授業への貢献度は、授業での発言(質問等)を含む。期中テスト1、2の中間試験、期末試験を含む。それ以外の授業内容。																																	
再試験評価方法	再試験を考慮しない学生は、試験から許可を得ること。																																	
オフィスアワー 研究室	授業日の教室での対応。Eメール(teacher@soc.fujitsu.ac.jp)。																																	
備考																																		
ホームページ	http://																																	
更新日付	2017/01/07 09:17																																	

検索結果一覧へ戻る

「検索結果一覧へ戻る」をクリックすると上記《講義一覧》画面へ戻ります。

3. 「キーワード」で検索の場合

(例) 検索するためのキーワードを入力してください。※教員名、科目名でも検索可能です。
 検索条件に合致した講義が表示されます。参照したいシラバスの講義名をクリックします。
 「前画面へ戻る」をクリックすると《シラバス検索》画面へ戻ります。

V3シラバス検索

[前画面へ戻る](#)

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-10件表示/102件中 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... [次の10件>>](#) 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間	曜日・時限	担当教員
1	41470408	演習Ⅳ	通年	木曜日 1時限	*****
2	12000792	西洋史学(6)個人の歴史と集団の歴史を 考える)	後期	月曜日 2時限	*****
3	14405400	比較経営論I	前期	月曜日 4時限	*****
4	23404200	国際物流論I	前期	火曜日 3時限	*****
5	23405940	ITビジネス論I	前期	火曜日 3時限	*****
6	33405120	生産管理論I	前期	水曜日 3時限	*****
7	53404410	地域マーケティング論II	後期	金曜日 4時限	*****
8	53406050	原価計算論II	後期	金曜日 3時限	*****
9	25132410	英米の文化と宗教	後期	火曜日 5時限	*****
10	11135900	情報英語	後期	月曜日 1時限	*****

1-10件表示/102件中 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... [次の10件>>](#) 10 件表示

※《シラバス参照》画面が表示されます。

シラバス参照

[検索結果一覧へ戻る](#)

科目名	英米の文化と宗教
開講学部等	文
開講学期	前期
科目分野	選択科目
配当年次	2年
単位数	2
担当教員	
曜日・時限・教室	後期 火曜日 5時限 13D
講義ID	125132410
講義年度	2017

目的・概要	目的: 英米それぞれの宗教的背景をおさえたうえで、個別のトピックについての知識と英米文化への理解を深めること。 概要: 本講義は3週に分かれている。1週はイギリス、2週はアメリカ、3週は英国・米国の宗教史を取り上げる。1 級生は、英米それぞれについて、10回の講義で文化と宗教の関係を説明。各回の講義をたどり、3週 では、カウンターカルチャー(対抗文化)における宗教の役割について説明する。																																
到達目標	英米の事例を通じて、文化・宗教にそなわっている、わたしたち個人や社会を方向づける力について理解すること。																																
スケジュール	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>イギリスの概略</td><td>9</td><td>アーミッシュ</td></tr> <tr><td>2</td><td>階級とスベクオリティ</td><td>10</td><td>過激な福音主義</td></tr> <tr><td>3</td><td>ジェントルマン</td><td>11</td><td>キリスト教とメディア</td></tr> <tr><td>4</td><td>宗教改革</td><td>12</td><td>LGBT</td></tr> <tr><td>5</td><td>植民地(大英帝国の裏面として)</td><td>13</td><td>カウンターカルチャーと宗教的もの</td></tr> <tr><td>6</td><td>ユースカルチャー</td><td>14</td><td>クシオール</td></tr> <tr><td>7</td><td>アメリカの概略</td><td>15</td><td>まとめ</td></tr> <tr><td>8</td><td>市民宗教</td><td></td><td></td></tr> </table>	1	イギリスの概略	9	アーミッシュ	2	階級とスベクオリティ	10	過激な福音主義	3	ジェントルマン	11	キリスト教とメディア	4	宗教改革	12	LGBT	5	植民地(大英帝国の裏面として)	13	カウンターカルチャーと宗教的もの	6	ユースカルチャー	14	クシオール	7	アメリカの概略	15	まとめ	8	市民宗教		
1	イギリスの概略	9	アーミッシュ																														
2	階級とスベクオリティ	10	過激な福音主義																														
3	ジェントルマン	11	キリスト教とメディア																														
4	宗教改革	12	LGBT																														
5	植民地(大英帝国の裏面として)	13	カウンターカルチャーと宗教的もの																														
6	ユースカルチャー	14	クシオール																														
7	アメリカの概略	15	まとめ																														
8	市民宗教																																
教科書	なし																																
参考図書	『イギリス文化史入門』井野久美恵編著、昭和堂、1994 『概説アメリカ文化史』田田道人編著、ミネルヴァ書房、2002 『よむわかも宗教社会学』櫻井義秀編著、ミネルヴァ書房、2007																																
履修上の注意																																	
評価方法	レポート70%、平常点30%																																
オフィスアワー ・研究室	木曜日(夜) (2022)																																
備考																																	
ホームページ																																	
更新日付	2017/06/21 14:51																																

[検索結果一覧へ戻る](#)

※《シラバス参照》画面が表示されます。

「検索結果一覧へ戻る」をクリックすると上記《講義一覧》
画面へ戻ります。